

学習支援プラットフォーム「高知家まなびばこ」



- ✓ 令和3年度から運用。
- ✓ 全ての公立学校の教職員・児童生徒が付与されているIDでログインできる学習支援プラットフォーム。
- ✓ 問題数6千問以上、動画教材300本以上を提供。
- ✓ 県教育委員会事務局が作成している補助教材やリーフレット等も提供。

学習支援向け



県作成のオンライン教材や動画教材を、小学校から高等学校まで掲載。
(小中は学年・教科毎に)

授業での活用はもちろん、**家庭学習支援**にも活用。

教員の授業支援向け



クラスルーム等のGoogleの各種ツールを「高知家まなびばこ」上で提供。

教職員のみ閲覧できる**教職員ポータルサイト**も用意しており、授業の参考となるようなモデル授業動画等を掲載

児童生徒の心の支援向け



児童生徒が登校時に、その日の体調や気持ちの状況を入力することで、学校・教員が速やかに把握し、対応ができる「**きもちメーター**」というシステムを県内の希望する学校に導入。

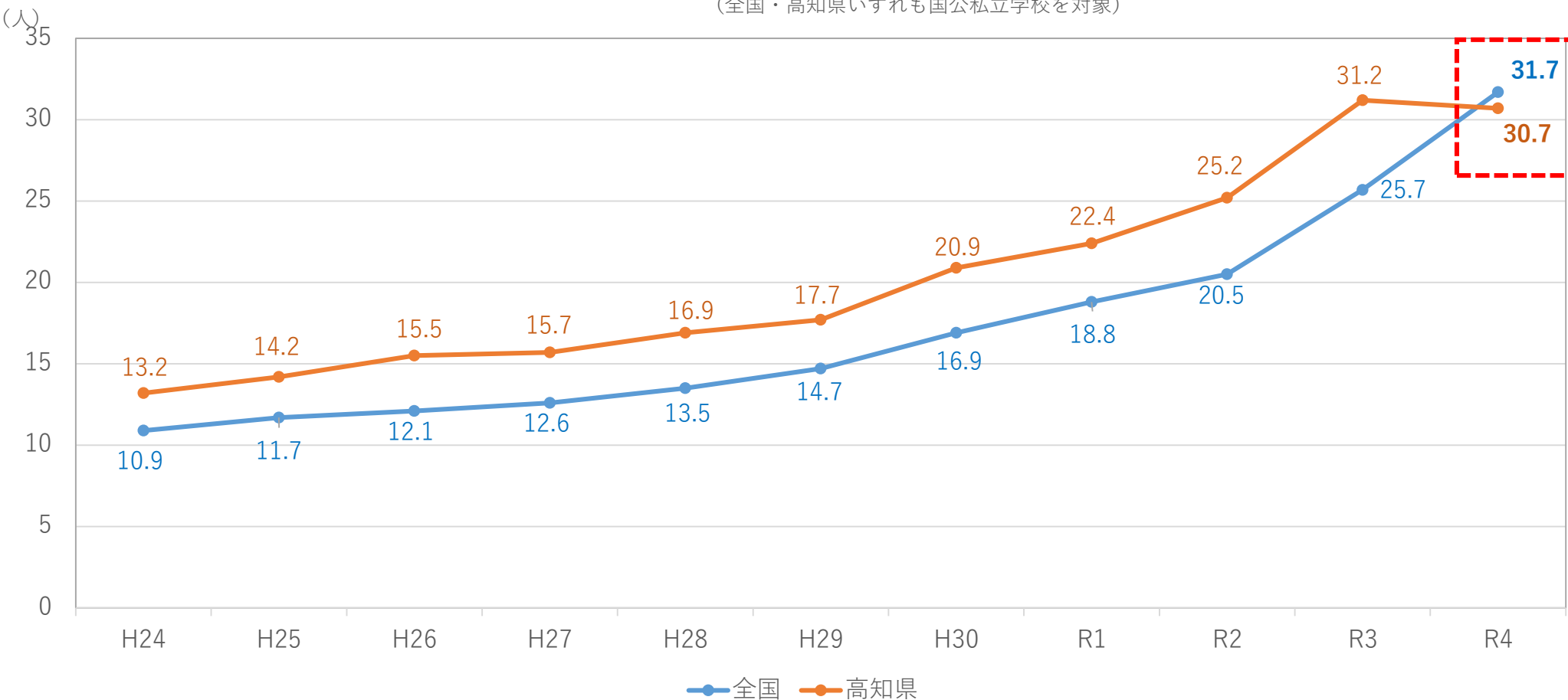
「きもちメーター」



- ✓ Chromebookの場合は起動時に、その他の端末の場合には「高知家まなびばこ」にログインすると自動的に立ち上がる。
- ✓ 学校等から機能改善の要望を随時とっている。例えば昨年度からは、自由記述の欄で、「いじめ」や「自殺」等の特定の用語を記入した児童生徒がいた際に、教員の閲覧ページでアラートが出るような機能を追加するなどしている。
- ✓ 希望する学校に導入しており、今年度は、メインターゲットである小中学校279校のうち、198校が導入している。

【参考】高知県の不登校児童生徒数①

◆ 1,000人あたりの不登校児童生徒数 (令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査より)
(全国・高知県いずれも国公立学校を対象)

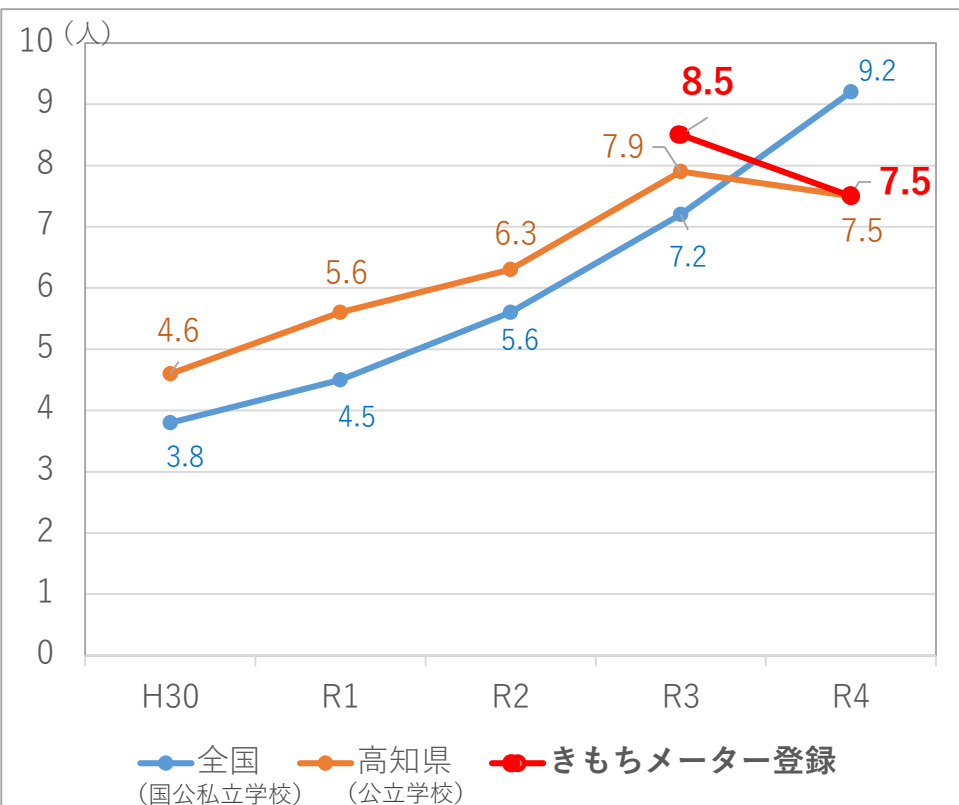


全国が増加するなかで、高知県は10年ぶりに（H24以来）
1,000人あたりの不登校児童生徒数が前年度を下回り、また全国値を下回る。

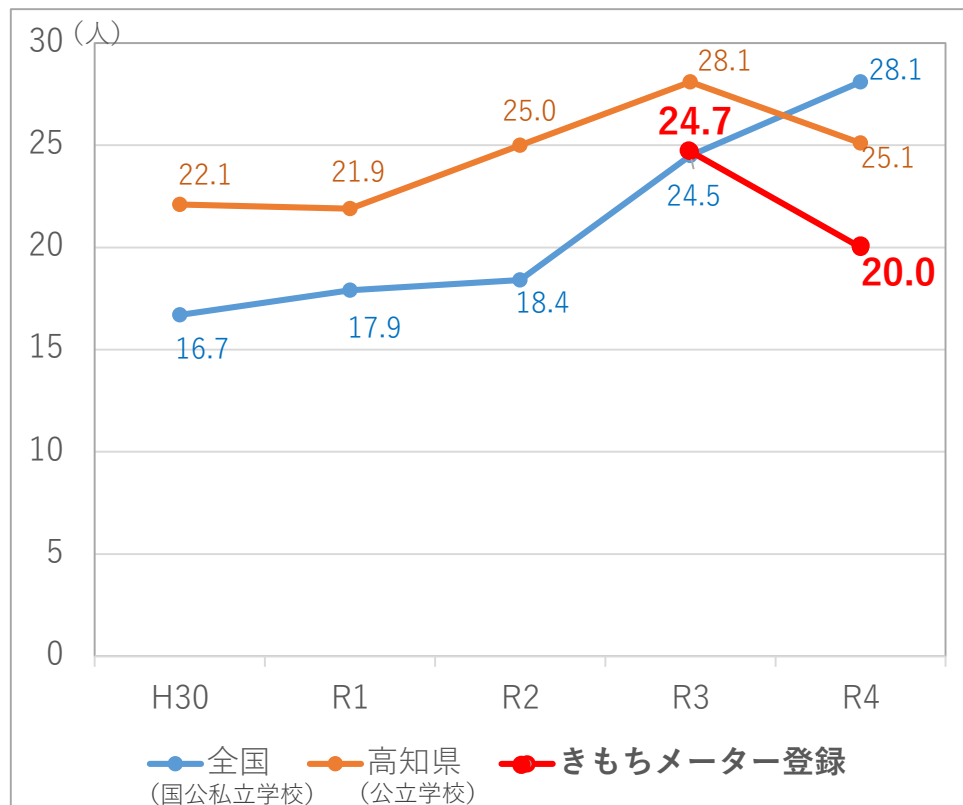
【参考】高知県の不登校児童生徒数②

◆「きもちメーター」導入校の1,000人あたりの新規不登校児童生徒数

小学校



中学校



新規不登校児童生徒数の割合は、令和3年度から4年度にかけて、高知県全体でも下がっているが、そのなかでも「きもちメーター」を導入した学校は、小学校・中学校いずれも新規不登校出現率の前年度比の下がり幅が高知県全体よりも大きくなっている。

※新規不登校の出現や減少については、様々な要因が関わるものであり、必ずしも「きもちメーター」のみの要因によるとは言いきれないことに留意。